

## 心に残る文化財子ども塾 出雲市立四絡小学校

### 1. 活動の概要

7月4日(火)、出雲市立四絡小学校で、6年生3クラス計86人を対象として『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

はじめに四絡小学校周辺の遺跡を紹介しました。次に出雲市内の遺跡から出土した奈良時代の土器に触れてもらいました。以前、出雲市弥生の森博物館で土器に触れたことがあるとのことだったので、その違いを感じてもらいました。

次に、大仏パネルを組み立てました。子どもたちは、協力してパネルを並べ、早い組では10分あまり、他のクラスは約15分で完成しました。完成した大仏パネルの上を歩いたり、横で寝転ぶなど実物大の大仏の大きさを実感しました。そのあと、大仏パネルの上で思い思いのポーズをとって記念撮影をしました。暑い日でしたが、クラス全員が団結して大仏を完成させて、その大きさを実感した一日となりました。

### 2. 活動の様子





### 3. 活動を終えて

#### 1) 児童の皆さんから

- ・大仏の大きさが心に残りました。予想以上に大きかった（同様の意見多数）。
- ・みんなで協力してどんどん置いていって完成できて、友達と協力して楽しかった（同様の意見多数）。
- ・大仏の髪の毛のことやまゆ毛の間のこぶについて、意味があってすごいと思いました。
- ・土器の説明はわかりやすく、持ってみることができてよかった。
- ・土器の重さを感じることができた。
- ・島根や四絡の歴史をもっと知りたいと思いました。

#### 2) 担任の先生から

- ・あれだけ大きなものを作るのはお金も材料も人も必要だ、と実感しました。実物をなかなか見ることができないので、やって良かったと思いました。
- ・子どもたちの考える時間があるともっと良いと感じました。また、時代背景のわかる資料などがあると、より理解が深まると感じました。

#### 3) 古代出雲歴史博物館から

- ・台座の部分と頭の部分に分かれて作成するなど、工夫していたことが印象に残りました。また、片付けも協力してもらい、スムーズに行うことができました。